



令和4年1月4日

第326号

〔発行〕(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部
支部長 TOTO株式会社 茅ヶ崎工場
編集 藤沢支部広報部会
<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/fujisawa/index.htm>

年頭にあたって

(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部

支部長 岩井 泰



新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお喜びを申し上げます。

会員各事業場の皆様におかれましては、日頃より藤沢支部の活動にご尽力いただいております事に感謝申し上げます。また、ご指導・ご支援をいただいております藤沢労働基準監督署はじめ関係団体の皆様方には厚く御礼申し上げます。

令和4年の年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年は、一昨年に続き新型コロナウイルスに世界中が翻弄され深く傷ついた年であったと思います。一方で、ワクチン接種が進み感染拡大は収束に向かっているのではないかと思います。一日も早く安心して生活できる日が訪れることを願うばかりです。

藤沢支部におきましては「第72回 全国安全週間」湘南地区推進大会など主要行事の開催が中止となりました。ただ、各事業場単位で労働衛生に関する意識向上等の活動はしっかり取り組んでいただきました。また、事業活動としましては法令講習会等で感染防止策を取りながらできる限り実施をいたしました。

神奈川県内の景気は、依然として厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いているようです。これからは、ウィズ・ポストコロナという中で、雇用機会の確保や労働環境の整備を意識しながら活動していく時代になっていくだろうと思っています。これまでの概念や価値観が一変し、経済や社会、そし

て私たちの暮らし方や働き方も大きく変わろうとしています。いかに環境が変わろうとも、私たちは、誰もが安心して健康に働くことができる労働環境の実現に向け、活動を進めていかなければなりません。皆様には引き続きご協力をお願いいたします。

今年は、第13次労働災害防止計画（平成30年度から5年間）の最終年度をむかえることとなります。従来のペースでは、目標達成は厳しい状況にあります。最終年度ということ意識し、経営トップのリーダーシップのもと関係者が一丸となって、墜落・転落や機械災害の防止、高齢者に配慮した職場環境の改善等の重点課題を確実に実施するなどして労働災害防止に全力であたって参りましょう。

藤沢支部としましても、行政の重点施策に沿った内容で、有効かつ具体的な講習会を企画・実施したいと思っております。目標達成には各事業場の皆様の自主的な安全衛生活動の推進が基本となりますので宜しくお願いいたします。

支部のスローガンは「ゆとりある気持ちが繋がる安全職場 ゆとりある心で繋がる健康職場 皆でつくりよう快適職場！」です。安全・健康の確保は事業活動に欠かせないものです。今年も、このスローガンのもと藤沢支部一丸となって各種施策に取り組んで参りましょう。

結びに今年一年、会員皆様方の「安全・健康」をご祈念申し上げ新年の挨拶といたします。ご安全に。

経営者セミナー開催のご案内

開催日時：令和4年1月11日(火) 14:00~16:45 受付開始 13:30~

場 所：藤沢商工会館ミナパーク6F 多目的ホール1、2

基調講演：神奈川労働局労働基準部長 井上 健氏

テーマ 「脳・心臓疾患の労災認定基準のポイントと複数事業労働者への労災保険給付」

特別講演：中央労働災害防止協会 関東安全サービスセンター 副所長・安全管理士 大村 倫久氏

テーマ 「経営者に必要な安全衛生の基礎知識」～求められる安全配慮義務も含め～

参加料：2,000円/人 当日会場の受付(団体毎)にて現金でお支払下さい。

※令和4年 賀詞交歓会中止について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和4年は中止することといたしました。ご理解とご了承のほど、よろしくお願いたします。

〔令和3年度 (公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部スローガン〕

ゆとりある気持ちが繋がる安全職場

ゆとりある心で繋がる健康職場 皆でつくりよう快適職場！

新年を迎えて

藤沢労働基準監督署

署長 長瀬 徹也



新年あけましておめでとうございます。

神奈川労務安全衛生協会藤沢支部の皆様、会員事業場の皆様には、日頃から労働基準行政の推進につきまして格別なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も引き続きご協力をお願いいたします。

昨年は一昨年に続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、各事業場の皆様方におかれましては、感染防止対策等に大変ご苦労されたことと思います。この原稿を書いている令和3年11月下旬の時点では感染が落ち着いていますが、新たな変異株が出現する等、次の感染拡大（第6波）が非常に懸念されます。当面はマスク着用の励行等、感染防止対策を継続していただきますようお願いいたします。そして今年は新型コロナウイルス感染症が完全に終息し、平穏な生活に戻ることができますよう祈念します。

さて、令和4年は第13次労働災害防止推進計画の最終年になります。当署管内における休業4日以上の労働災害は平成21年に最小（480件）を記録して以降増減を繰り返していましたが、一昨年は709件と平成8年以来700件を超える数値となり、昨年につきましても10月末現在で526件と、一昨年の同期に比べて増加している状況となっております。また、死亡災害につきましても10月末時点

で3件とこれも一昨年に比べ増加しています。

事業場のトップの方におかれましては引き続き積極的に安全管理活動に参画し、職場の安全管理体制の整備、強化に努めていただきますと伴に、労働者一人一人に労働災害を発生させないという強い意識を持っていただくため、必要なご指導をお願いいたします。

また、今後も少子高齢化に伴い高年齢労働者の増加が予想され、転倒災害の防止対策、腰痛予防対策への取り組みも重要になると思われます。令和2年3月に策定された「エイジフレンドリーガイドライン」に基づき、働く高年齢労働者の特性に配慮した職場環境の構築について推進していただきますようお願いいたします。

最後になりますが、神奈川労務安全衛生協会藤沢支部と会員事業場の皆様方の益々のご発展と、本年の皆様のご多幸を祈念して年頭のご挨拶とさせていただきます。



★ 事務局からのお知らせ ★

< 祈祷 公益社団法人神奈川労務安全衛生協会藤沢支部会員事業 安全衛生祈願 >

新しい年を迎え、藤沢支部会員事業場で働く全従業員の皆さんの安全と健康を祈念し、藤沢労働基準監督署と合同で、1月11日(火)鶴岡八幡宮に安全衛生祈願のお参りに行きます。

< 2022・2023年度藤沢支部スローガン募集のご案内(2021年12月1日配信) >

会員事業が一丸となり安心して働き、健康で過ごすことができる職場の推進を図ることを目的に、2月4日(金)まで募集しています。皆様のご応募をお待ちしております。

< 2021年無災害事業場表彰制度のご案内(2021年12月13日配信) >

- ・対象：従業員数が100人未満の事業場
- ・受付期間：2022年1月5日(水)～1月31日(月)
- ・無災害期間：2019年1月1日より2021年12月31日をもって、3年以上無災害を継続。

★詳細は支部HP・TEL・メールにてお問い合わせ下さい。

◎支部HP <http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/fujisawa/index.htm>

◎TEL 0466-26-1991 ◎メール fujisawa@roaneikyo.or.jp



会員事業場紹介

今回は鎌倉市にあります『是村旭ダイヤモンド工業株式会社』です。

会社紹介

是村旭ダイヤモンド工業株式会社は、1940年3月創業の小径精密研削砥石・超仕上砥石の専門メーカーです。株式会社是村砥石製作所として操業を開始し、のちに株式会社是村、そして2013年7月にダイヤモンド工具のリーディングカンパニー・旭ダイヤモンド工業グループとなって是村旭ダイヤモンド工業株式会社へと社名変更をいたしました。当社の主なお客様はベアリング、自動車部品、電子部品業界で、精密な研削加工と仕上加工に使われる砥石を国内外に提供しております。近年の加工精度に対するお客様の「高精度」「高能率」「コストダウン」等のご要望に対し、絶え間ない改良・開発を進めております。また、耐摩耗工具のPCD化要求にもお応えし、「長寿命」「高能率」化への設計製作を行っております。



安全衛生活動

当工場での安全衛生活動をご紹介します。毎月、各部門から選出された安全衛生委員からなる安全衛生委員会を実施し、職場の安全パトロールを実施しております。とかく工場においては「安全」面だけが強調されがちですが、「衛生」面についても産業医・保健師から健康に関する講話をもらうなど、従業員の職場安全と健康意識を高める活動を実施しております。また、親会社である旭ダイヤモンド工業の中央安全衛生委員会とも連携して情報を共有し、様々な角度から安全面を配慮する活動となるように心掛けております。幸いなことにここ数年は労働災害ゼロを維持しておりますので、今後もゼロ災を継続できるよう、安全衛生活動に注力してまいります。

安・健・快 雑感

デンカ株式会社

日向野 正徳

大船に異動して3年半が経とうとしています。駅前には沢山の飲み屋さんがあり、仕事を早く上がれる時は、同僚から色々なお店（日本酒がメイン）を紹介してもらいました。そして単身赴任ですので、遅い時間に何か食べても誰にも咎められません。最大4kgぐらい太ったと思います。ですが、昨年3月頃からコロナ感染予防の為、会社関連の会食が出来なくなり、休肝日を週4日も取れるようになったのです。すると少しずつウエストに余裕が出始めました。チャンスと思い、これに拍車をかけるためワンパターンだった駅から工場まで

の通勤ルートを色々な遠回りのコースに変えてみました。今まで夜しか見てこなかった仲通りや飲み屋さんの朝の顔を見ると、別の街を発見したような気分です。そして歩く時間が増えるので電車一本分早めに出発します。するとすれ違う人たちも顔ぶれも変わり、それもまた面白かったりします。昨今では日陰を探して通勤ルートを選んでいたり、勝手な方向へ変化しています。些細なことでも日常のワンパターンから外れると楽しいですね。

〔当面の支部行事予定〕

- | | | |
|--------------------------|-----------------|-----------------------------|
| ○令和3年度経営者セミナー | 1月11日(火) | 会場：藤沢商工会館ミナパーク6F 多目的ホール1、2 |
| ○第3回KYT(危険予知訓練)研修 | 1月18日(火) | 会場：藤沢市建設会館 4F大会議室 |
| ○第4回粉じん作業特別教育 | 1月25日(火) | 会場：藤沢市建設会館 4F大会議室 |
| ○第2回リスクアセスメント研修 | 1月27日(木) | 会場：藤沢市建設会館 4F大会議室 |
| ○第2回フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育 | 2月1日(火) | 会場：藤沢市建設会館 4F大会議室 |
| ○健康づくり研修会 | 2月3日(木) | 会場：藤沢商工会館ミナパーク3F 302、303会議室 |
| ○第7回フルハーネス型墜落制止用器具特別教育 | 2月8日(火) | 会場：藤沢市建設会館 4F大会議室 |
| ○第6回職長教育(2日間) | 2月15日(火)～16日(水) | 会場：藤沢市建設会館 4F大会議室 |
| ○労務管理セミナー | 2月28日(月) | 会場：藤沢市建設会館 4F大会議室 |
| ○第2回職長能力向上教育 | 3月3日(木) | 会場：藤沢市建設会館 4F大会議室 |

令和3年度 神奈川労務安全衛生大会開催される

令和3年度の神奈川労務安全衛生大会が、初めてオンライン形式で開催されました。参加者は、11月8日から22日までの期間にオンデマンドで視聴する形となりました。藤沢支部からは、74事業場281名の参加申し込みがありました。

第1部では、神奈川労務安全衛生協会会長の挨拶に始まり、神奈川労働局長や藤沢市長による祝辞、運営担当を行った藤沢支部の岩井支部長による大会宣言などが行われました。また、表彰として、藤沢支部から右の7名の方が労務安全衛生功労賞を受賞されました。これは長年にわたる安全衛生活動への功績が認められたものです。心よりお祝い申し上げます。

続いて第2部では、日本労働安全衛生コンサルタント会およびマックス株式会社による講習が行われ、最後の第3部では、日本マネジメント総合研究所合同会社理事長／ビッグデータ・ストラジストである戸村智憲氏による特別講演が行われま

した。いずれも、各事業場の安全衛生管理において役に立つ貴重な講演となりました。

〈広報部会：中外製薬(株)鎌倉事業所 赤塚 直徳〉

《功労賞受賞者(敬称略)》

いすゞ藤沢安全衛生協力会	吉岡 尚人
(株)神戸製鋼所藤沢事業所	日比 弘幸
JX金属コイルセンター(株)	佐藤 真也
デンカ(株)大船工場	森 岳夫
東邦テタニウム(株)	梅澤 一久
プレス工業(株)藤沢工場	辻 雅
(株)明治 神奈川工場	神谷 知宏



第80回 全国産業安全衛生大会開催される

「働く人の安全・健康・幸せを未来に伝える人づくり」をテーマに、第80回全国産業安全衛生大会が10月27日から29日まで東京国際フォーラムで開催されました。昨年はコロナ禍の影響で第79回大会が中止となりましたが、今年は現地開催とオンライン配信(ライブ配信、オンデマンド方式)を併用したハイブリッド形式にて開催され、更にオンデマンド配信については視聴期間を11月30日まで設けるなど柔軟な試みが好評を博しました。藤沢支部からも12事業場28名の参加申し込みがありました。

総合集会の特別講演を含め全13講演が企画され

ましたが、「勝ちぐせをつくる組織文化を作るリーダーの役割(元早稲田大学ラグビー蹴球部監督)」では「組織文化をキーワードに、成長し続ける強い組織を作る、即ちウイニングカルチャー(常勝の組織文化)をどう身につけていくか」について、聴講者に節目毎に数々の問いを投げかけ一緒に考えさせながら進行するユニークな講演でした。そして「勝ちぐせを持っている組織は問いが違う」、「文化は戦略に勝る」、「文化を変えるために言動をどう変えるか」など安全意識の醸成にも相通ずる気づきを多く得られました。

〈広報部会：日産工機(株) 小林 克己〉

〔編集後記〕

新しい年を迎え、今皆さんはどんなことを考えていますでしょうか。今年こそ事業所の無事故無災害達成を、今年こそ新しい資格を取ろう、お正月にお餅を食べすぎてしまったので今年こそダイエット。もしかしたら今年の今頃と同じことを思っている方も少なくないかもしれません。でもそれでもいいですよ。新たな1年を始める、この何とも言えない厳かな、寒い中背筋を正すような日本の年末年始の雰囲気が好きです。欧米では年末年始よりもクリスマスのほうに重きが置かれ、カウントダウンはクリスマスの延長のイベントのようなイメージがありますが(主観です)、日本人には物足りない気がします。年末に大掃除をがん

ばったおかげで、整理整頓片付いた事務所で、少しだけ久しぶりの上司や同僚に今年もよろしくと挨拶をする。また1年がんばろうと心新たに自分のデスクに向かう。昨年から何も変わっていないはずなのに、年を越すと事務所やデスクがなんだか新しくなったような特別な感じがする。こんな日本の仕事始め、いいですよ。皆さま、本年も健康第一、安全第一で頑張りましょう!

〈広報部会：(株)HGSTジャパン 日高 春奈〉

